

# 統計・ファイナンスプログラム

一橋大学大学院経済学研究科・経済学部

実社会では...

- 統計学・計量経済学・確率論などを駆使した数  
量的分析手法（Quantitative analysis）の重要度  
が増している。
  - 経済時系列分析, リスク管理, 資産の投資戦略, 金融  
商品の開発, 経済・ファイナンスの数理モデルの  
構築全般
- 特に, ファイナンス・保険の世界では, 数理分析  
の専門家(クオンツ, アクチュアリーなど)の需  
要が拡大している。

## (例) 金融業界で活躍する専門職

- アクチュアリー

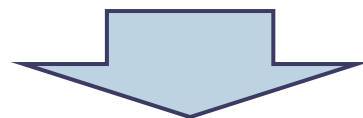
- 保険・年金・金融など多彩なフィールドで活躍する数理業務のプロフェッショナル。商品開発における数理的な設計、財政の健全性の確保と制度の公正な運営に務める。

- クオンツ

- 高度な数学的手法を用いて市場を分析したり、投資戦略や金融商品の考案・開発、リスク量の評価などを行うこと、またその専門家。

## 統計・ファイナンスプログラムで核となる 3つの分野

1. 統計学
2. 計量経済学
3. ファイナンス



3分野の1つ, または3分野にまたがって  
知識を蓄え, 「技術」と「分析能力」を持つ  
高度専門職業人になることを目的とする。

## 統計・ファイナンスプログラムの科目履修例 (合計32単位以上)

	統計学に 重点を置いた例	計量経済学に 重点を置いた例	ファイナンスに重点 を置いた例
研究科コア科目 (4単位以上)	上級計量経済学 中級ミクロ経済学	上級計量経済学 中級マクロ経済学	上級計量経済学 中級マクロ経済学
選択必修科目 (8単位以上)	上級統計学I II 確率論I II 確率・統計特論A B C 計量経済学特論C	計量経済学特論A B C 確率・統計特論A B 計量ファイナンス特論A BI BII	ファイナンス経済論A B 計量経済学特論A B 計量ファイナンス特論A BI BII C
共通の必修科目 (8または12 単位以上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済統計WS(ワークショップ)(2単位)</li> <li>・演習(6単位)は修士1年から履修することが望ましい</li> <li>・インディペンデント・スタディ(4単位)は、原則としては5年一貫生のみ履修可能。企業へのインターシップ報告や修士論文とは別の研究発表など</li> </ul>		

## 統計・ファイナンスプログラムの所属学生数

期	修了年	コース	
		5年一貫	修士専修
第1	2006	4	1
第2	2007	4	1
第3	2008	2	7
第4	2009	3	6
第5	2010	3	5
第6	2011	0	5
第7	2012	1	1
第8	2013	1	2
第9	2014	0	3
第10	2015	2	3
第11	2016	3	7
第12	2017	1	1
第13	2018(予定)	1	2
第14	在籍中	3	4

(在籍者も含め**85名**)

# 統計・ファイナンスプログラム 修了者の進路（一部）

- 銀行
  - 日本銀行, 国際協力銀行, みずほコーポレート銀行, バークレイズ・ジャパン, 三菱東京UFJ銀行, 三菱UFJ信託銀行など
- 証券
  - 野村証券, 大和証券, みずほ証券など
- 生保
  - 日本生命, 第一生命, 明治安田生命, プルデンシャル生命, マニユライフ生命など
- 損保
  - 損保ジャパン, あいおい損保など
- 他
  - 東京都庁, 東京ガス(理系織), アクセンチュア, 博士課程進学など

※クオンツ・アクチュアリー採用含む。

## 統計・ファイナンスプログラム 就職活動支援（2014～2017年の例）

- りそな銀行 インターンシップ説明会
- 明治安田生命 会社説明会
- 三菱UFJ信託銀行 会社説明会

OBや金融数理業務に関わる専門家が来校し、少人数で行うので内容の濃い説明会となる。



## 統計・ファイナンスプログラム 修了者の在学中の資格取得と職種

- 証券アナリスト試験 第一次レベル
- 日本アクチュアリー会資格 第一次試験
- 米国証券アナリスト試験 レベル1



職種は、総合職や専門分野での採用が多い

(例) アクチュアリー部門, M&A アドバイザリーグループ,  
G C F コース, 金融テクノロジー(FT)コースなど

# 統計・ファイナンスプログラム 修了生へのアンケート

## アンケート項目

1. 統計・ファイナンスプログラムへの参加を決めた理由
2. 就職活動では、統計・ファイナンスプログラムの学生であること（や5年一貫の学生であること）が役に立ちましたか
3. 統計・ファイナンスプログラムの提供科目は将来の仕事の役に立つと感じていますか
4. 統計・ファイナンスプログラムに参加してよかったと思うことについて自由に書いてください
5. 統計・ファイナンスプログラムに対する要望や不満があれば自由に書いてください
6. 後輩へのメッセージ

【アンケート1】

## プログラムへの参加を決めた理由

- 将来は金融の専門職に就きたいと考えていたから。
- ファイナンスの世界での理論的側面や実証研究などを通じて、幅広く実務に応用できる能力を獲得したかった。
- 大学院進学理由は計量経済学を上級レベルまで勉強したかったからです。

## 【アンケート2】

# 就職活動で役に立ちましたか

- 非常に役立った。飛び級をして修士課程に在籍しているということ（5年一貫）で、他の修士学生と差別化を図ることができた。
- 数理的な素養があるという点をアピールできたので、役に立ったと思う。
- 5年一貫の学生であることはプラスに評価されることが多かったと感じます。
- 認知度があまり高くないせいか、それほど役に立った印象はない。

【アンケート3】

## 将来の仕事に役立つと思いますか

あてはまるものを選んでください。

- とてもそう思う 19人
- そう思う 19人
- どちらでもない 6人
- そう思わない 0人
- 全く思わない 0人

⇒ 全体の約86%が「役に立つと思う」と回答。

【アンケート4】

## プログラムに参加してよかったこと

- 専門的な知識の習得を達成できた。
- 就職活動や研究活動において、大いに本プログラムの先輩と同級生にお世話になった。

【アンケート5】

## プログラムに対する要望や不満

- 特にないが、金融機関の専門職にこのプログラムの多くの先輩がいるのだから、ネットワークをもっと活用しやすい環境があればよいと思う。

## 【アンケート6】

# 後輩へのメッセージ

- 授業で得た知識はもちろんのこと、友人や教授から受ける刺激は、何物にも代えがたい貴重な経験になる。就職活動においても数理的な能力があることを示すことができる。自分の能力を高めたいという意思があるなら、是非このプログラムに参加してください。
- 就職してからどのようなキャリアに就いていきたいかを考え、そこから逆算して現在やるべき勉強、研究を見つけ主体的に取り組めば、より成果が出ると思う。



## おわりに

- 統計・ファイナンスは狭い意味での金融工学, 数理ファイナンスではありません。
- 確率論や統計学を用いた数理分析手法としての統計解析, 時系列解析, 計量経済学, ファイナンスを学びたい学生も **大いに歓迎します**。

# 詳細はcfeeウェブサイト に掲載されています。

<http://www.econ.hit-u.ac.jp/~finmodel>

CFEE 一橋大学 金融工学教育センター  
Center for Financial Engineering Education

Home English

### CFEE 新着情報

- 5年一貫統計・ファイナンスプログラム説明会開催(6/21/2017)
- リソな銀行インターンシップ説明会開催(6/1/2017)
- 5年一貫統計・ファイナンスプログラム説明会開催(11/16/2016)
- 金融工学教育センター学生研究発表会開催(10/7/2016)
- オフィスが移転しました。(4/1/2016)
- 第4回研究集会「金融工学からERMへ」開催(3/8/2016)

»更新履歴



- プログラム概要/cfee教員紹介
- 統計ファイナンスプログラムとcfee
- イベント情報
- リサーチ
- リソース
- 学生情報
- お問い合わせ・リンク

CFEE Office  
一橋大学 磯野研究館2階  
経済統計研究室内  
TEL/FAX 042(580)8782  
[cfee@econ.hit-u.ac.jp](mailto:cfee@econ.hit-u.ac.jp)

最終更新日: 5/22/2017